

オートデスク株式会社 技術営業本部

AUTODESK.



BIMで実現しているのは?

- BIMソフトウェア導入による設計の効率化
 - 紙→2D CAD→3D (パース) →3D BIM設計
 - BIMモデルの活用により、3D≤2D連携による設計の効率化
 - 構造計算や積算といったBIMモデルの活用範囲が拡大

部分最適化

BIMで次のステップ は?

- BIMモデルの共有と管理
 - 3D&2Dの最新版管理、あらゆるファイルのバージョン管理、マークアップの 履歴管理、安全な配布管理、そしてこれらの統合管理環境
- BIMモデルを設計~施工管理、そしてメンテナンスに展開
 - オフィスから現場にBIMを展開して、施丁プロセスの効率化
 - 蓄積されたBIMモデル、情報をメンテナンスに継承

全体最適化







「BIMで次のステップ」を実現する3つのポイント

- 1 2次元(論、3次元(参をコントロールする)
- ② 安全 🚇 に情報を共有・管理できること
- ③ 将来の発展性 API があること

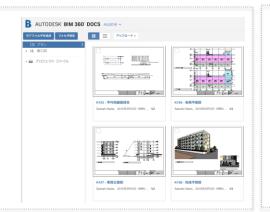
① 2次元(情)、3次元(をコントロールする)

BIMモデルに含まれる

3次元モデルと2次元

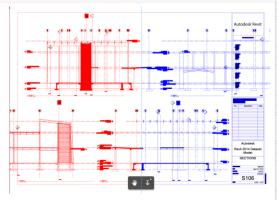
図面を統合管理

- ・プラン/施工図
- ・タイトルブロック



図面を比較

- ・重ね合わせ (すかし)
- ・左右分割



3次元モデル、2次元

図面に対して

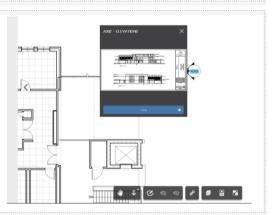
- ・マークアップ
- ・ピン(問題)管理



図面間を相互にリンク

してナビゲート

- ・自動リンク認識
- ・リンクを追加







② 安全 (♠) に情報を共有・管理できること

モバイル端末からも

安全にアクセス

Mobile Security Key



安全公開機能

3次元モデル、2次

元図面を表示のみ

ダウンロード不可



全てのログを記録

- ・アクティビティー
- 権限設定



バックアップ体制

- ・バージョン管理
- ロールバック

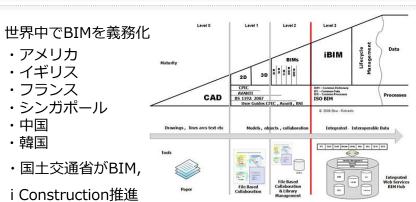




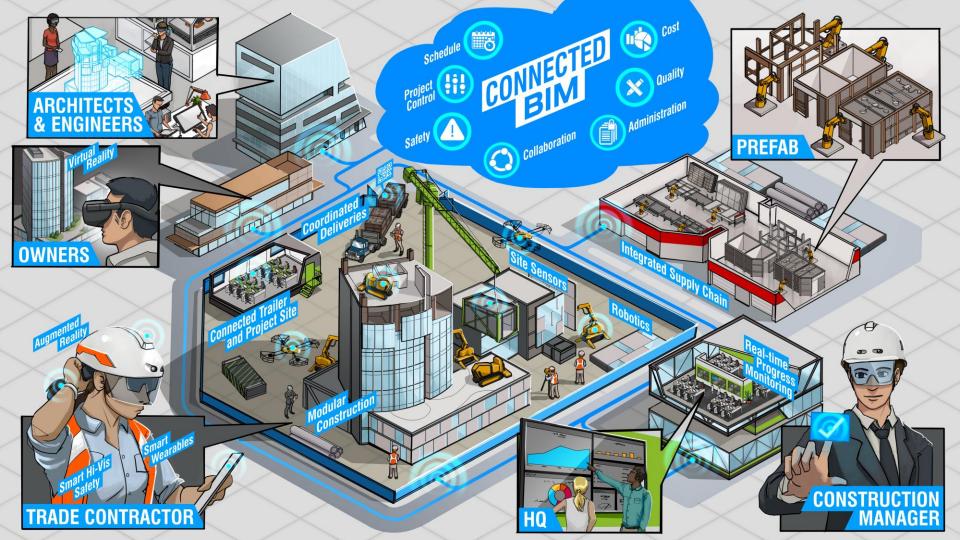
③ 将来の発展性 API があること











AUTODESK® BIM 360™



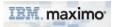












Data Management API

A360, Fusion360

Design Automation

API

スクリプト

Model Derivative

API

データ互換、形状

OAuth API

オープンスタンダード

Token-base 認証

Viewer

Webベースビュワー

3D Print API Spark

プリンタ管理



FORGE

Autodesk Forge 開発プラットフォーム









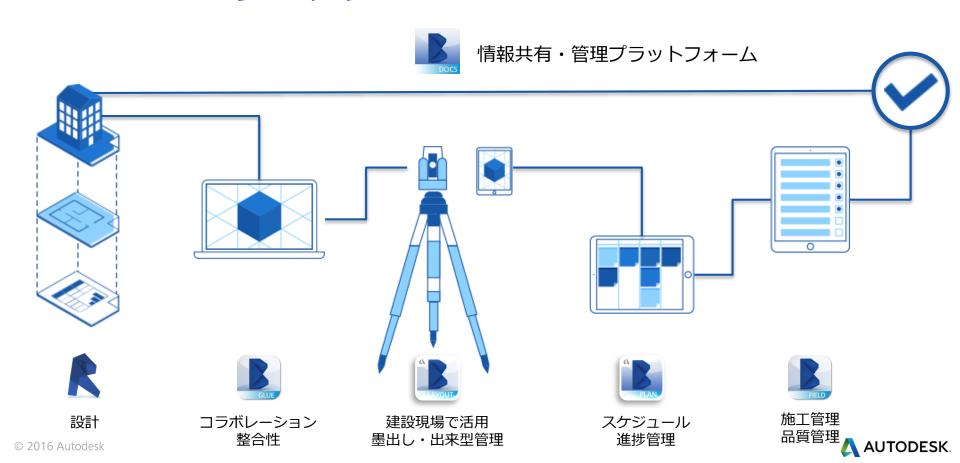








BIM 360 ワークフロー





Autodesk is a registered trademark of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.

© 2016 Autodesk. All rights reserved.